

# 特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

## 課題

通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の、適切な指導及び必要な支援へのニーズの高まり

チーム学校として児童生徒の支援を行うための、特別支援教育校内支援体制の見直し

すべての児童生徒の社会参加のため、幼児期から学校卒業後までの切れ目ない支援の必要性

## 目的

インクルーシブ教育システムを推進するため、市立小・中学校における特別支援教育の体制整備の充実を図るとともに、特別な支援を必要とする児童生徒への教員の指導力向上を図る。また、就学前期から就労・進学期まで、一貫した切れ目ない支援を行うことができるよう、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係部局・機関の連携を図る。

## 成果

- ◎ インクルーシブ教育推進相談員・専門家の派遣等による校内支援体制の強化及び教員の指導力向上
- ◎ 市内ブロックにおける特別支援教育推進の中核となる通級指導教室担当教員の養成及び資質向上
- ◎ 「特別支援教育連携会議」において、保護者の相談窓口を表した「なら特支ネット」の策定及び、ハンドブックの作成企画
- ◎ ライフステージに応じて「個別的教育支援計画」「個別の保育・教育支援計画」を活用して支援をつなぐ、切れ目ない支援体制の推進

## 事業内容

- ・インクルーシブ教育推進相談員・専門家を派遣
  - ➡ 学校園に派遣し、子どもの実態に合わせた具体的ななかかわりや指導を助言
  - ➡ 学校園における特別支援教育の体制にかかわる助言
- ・「特別支援教育連携会議」を開催し、市内の連携体制を強化
  - ➡ 医療、保健、福祉、教育、労働等の関係部局・機関で構成される会議において、切れ目ない支援のための関係機関のネットワークづくりと情報共有
- ・「なら特支ネット」の策定及びハンドブック作成準備
  - ➡ 作成を通して、関係機関の連携を推進、保護者支援や教員への啓発

令和2年度 奈良市における特別な支援が必要な児童生徒への支援体制の構想図

